

「専門研修課程Ⅱ・更新研修（後期）事例提出用シート」



記載内容の留意事項

始めに事例検討と事例研究の違いを確認しておきましょう！

・事例検討の目的

利用者や家族が生活困難を引き起こしている問題等を検討し、どのように支援をしていくのかについての方向性を明確にすることです。

・事例研究の目的

具体的な援助内容や出来事の詳細を通じて、自分の持つ人間観や援助観を見つめ、介護支援専門員としての専門性、価値を確認し、必要な知識、技術や技法を習得していくための学びの方法です。

〔 介護支援専門員の支援の在り方や支援の過程と結果についての評価を行うものである。つまり、〕
〔 事例研究は介護支援専門員としての専門性を問うていくことでもあります。 〕

事例研究の方法と進め方（集団討議の方法を用いて実施）

- ① 事例提供者が事例についての報告（プレゼンテーションを行う）
- ② 参加者の事例の共有化を図る（参加者が事例の利用者について、また事例提供者のその事例に対する思いについての理解を深め共有する）
- ③ 論点を明確にする（参加者が討議していく論点を明確にする）
 - ・事例の問題点を抽出し検討すべき論点を明確化していく
 - ・論点が明確化された上で論点の検討をする

※実践の成功や失敗を判断したり、事例提供者を避難したりする場ではない。お互いが気づきあい学びあえる場であることが重要です。

以上①～③の順序で、演習を進めてまいります。詳細につきましては当日講師の方から、説明いたします。

事例を書く際のポイント



事例をまとめる前に、演習の協力者より必ず承諾書をいただいでください



事例のテーマを決定し、取りあげた事例を振り返る（分析をする）。振り返りは、分析することでもあります。計画作成においてどのようなことを留意し、どのような方法を具体的に用いたかを振り返りながら、事例をまとめてください。

☆事例をまとめる時の、振り返りの居宅・施設共通ポイントを挙げてみました。

- ・ 作成された計画について示すだけでなく、どのような計画作成プロセスを経て作成したか？
- ・ サービス計画作成の際はどのような人たちによって情報が集められ、分析がなされたのか？
- ・ サービス計画を作成する際にどのような点を留意したのか？その理由は？
- ・ モニタリングの際に留意した点、その理由は？
- ・ 再アセスメントの際に留意した点、その理由は？
- ・ サービス計画変更を決めた理由と変更する上で留意したことは？
- ・ サービスを具体的にどのように活用したか？留意した点は？
- ・ 関係機関と連携を図る際に何に価値をおいて、どのように連携を図ったか？
- ・ 支援困難事例と認識された事例は、なぜ、誰によって支援困難事例と認識されたのか？どのように課題を設定し、解決に向けてどのように取り組んだのか？

居宅のポイント

- ・ 各個別サービス計画との関係を利用者の生活を支える視点からどのように調整したか？
- ・ 何に留意してどのようにサービス事業者との連携を図ったか？

施設のポイント

- ・ 利用者の生活の質の向上およびその継続のために、どのような点に留意しどのようなことを行ったか？
- ・ 在宅復帰の可能性について、何に留意しどのようにアセスメントしたか？
- ・ 施設内外での職種間連携は何に留意し、どのように行ったのか？
- ・ 施設外での資源について、何に留意してどのように活用したか？またどのような連携によって活用につなげたか？

看護師・社会福祉士・介護福祉士など

所属		基礎資格 (保有資格)		ケアマネ 経験年数	年 月
利用者はこれまでに要介護度の変化ありましたか？	①なし	②あり	要介護度	認定変更年月日	年 月 日
この利用者にとって何人目の介護支援専門員ですか？			何人目	わからない	
利用者にとって事業所は何件目ですか？			件目	わからない	
事例区分の中から今回提出する事例の状況に近いものを選出(複数でも可)					チェック
1	独居で認知症高齢者				
2	認知症高齢者に関する家族の理解が困難				
13	その他(具体的に記載)				
1. 事例を選択した理由					
2. 事例概要(全体像)					
3. 事例のキーワード(支援を困難にしている主たる原因)					
4. 利用者基本情報					
年齢	(歳 / 明治・大正・昭和 年 生まれ)	性別	(男 / 女)		
紹介経路		支援開始	平成 年 月 日	要介護度	1 2 3
初回認定日	年 月 日	認定審査会意見			
障害者高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)	ランク	認知症高齢者の日常生活自立度	ランク		
主 訴	(相談内容)				
生活暦					
家族状況	介護者の状態		家族の状況 (記号の下に、続柄と年齢を記入、主たる介護者を○で囲む) (記号)男性□、女性○、死亡●■、夫婦＝、家族は・・・で囲む		
	年金(/月)	所得()	住宅状況	一戸建て 集合住宅 高齢者用住宅 その他 持ち家 賃貸	
経済状況	生活保護制度利用	有 無	仕送り()		
	その他()				
心身の状況	身体障害者手帳(種 級)	かかりつけ医 有 () 無			
	療育手帳()	(主な疾患)			
	精神障害者保健福祉手帳 有 無	公費負担医療利用 有 無			
その他		(現在の治療状況)			
ニーズの把握	(生活全般の解決すべき課題(ニーズ)・・・課題の優先ポイントやその理由など)				
その他					

多数の件数がある中で、どうしてこの事例にしたのかを記入
 ・研究の目的
 ・選出した動機等

「事例区分の～」の欄でチェックした状況について、具体的に記入。客観的事実ではないかと思われることを全体像がわかるように記入する。
 ・心身の障害
 ・残存能力(できていること)
 ・社会参加の実態
 ・社会的参加を妨げる社会環境
 ・利用しているサービス
 ・家族介護者の健康状態や介護内容、介護能力
 ・住居環境
 ・実際に起こった出来事等

主観的な事実(本人や家族が主観的に感じている事実)
 ・本人の困りごとやどのような生活をしたいかという希望、好きなこと、嫌いなこと、自信を持っていること、自信や意欲を失っている状態、できるだけ楽しみたいという気持ち
 ・本人、家族のサービスへの希望や不満
 ・家族が訴える困りごとや介護負担
 ・本人(家族)が認知症であることを近所に知られたくないという意識
 ・疾病に対する家族、本人の認識
 ・在宅又は施設の入所希望など

必要に応じて、情報をその他に追加してください。

5. アセスメントに関する項目	
健康状態	(特別な医療ケアについて)
	(口腔衛生)
	(褥瘡・皮膚疾患等) 有・無 部位()
	(服薬の状況 薬剤名と服薬頻度)
	(医療機関の受診状況 通院診療科名)
日常生活及びコミュニケーションの状況	【ADL】
	【コミュニケーション】
	【その他】
認知	

6. 長期目標・短期目標・期間の設定について
7. 現在利用しているサービスの内容・種別の選定理由
8. サービス担当者会議の意見
9. ケアプラン作成やサービス提供についての問題点
10. モニタリング (効果があったり、評価できた内容や調整が必要とされた内容等について理由とともに記入)

達成可能な目標であったか？
達成可能な目安をつけたか？について記入

サービスには、フォーマル以外のインフォーマルのサービスも含める

検討された意見等の他に、検討すべきであったテーマなどの振り返りも記入

「この事例に関する全体の感想」

①この事例に関わりながら感じてきたこと
②事例をまとめてみて今感じていること
③今後の事例の将来像は？
④今後のことで悩んだり迷ったりしていること
⑤特に議論して欲しい内容